

教育の充実

全国学力学習状況調査結果



中学生アフタースクール
専門的指導力の高い講師が指導します

全国学力・学習状況調査結果

■ 小学校の平均正答率（％）

教科	国語A (知識)	国語B (活用)	算数A (知識)	算数B	理科
筑前町	69.0	56.0	63.0	49.0	62.0
福岡県	71.0	55.0	63.0	51.0	61.0
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

■ 中学校の平均正答率（％）

教科	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)	理科
筑前町	74.0	60.0	64.0	44.0	66.0
福岡県	75.0	61.0	65.0	46.0	65.0
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

毎年、小学6年生と中学3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われています。この調査結果は児童生徒の学力や学習状況を分析し、教育施策の成果と課題を検証するものです。

教科に関する調査の出力内容は、実生活において不可欠であり、常に活用できるようにすることが望ましい「知識」などに関するものと、そ

の知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力をみる「活用」に関するものです。

町の結果を見ると、小学校では、国語Bと理科が県および全国の平均正答率を上回り、算数Aが県と同等となっています。中学校では、理科のみ県平均正答率を上回っています。昨年度と比べると、中学校は、下降しており、小学校は全体的に上昇傾向にあります。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査は、児童・生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関するものです。

町の結果から、小・中学校とともに地域へ愛着を

もち、活動を通して地域や社会の役に立ちたいとする児童・生徒が多いということがわかりました。そして、「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」の項目は、特に小学生において、全国よりも高い結果となっております。

今後の取組みは、各学校の調査結果・分析を学校全体で共有し、共通実践をすること、自分の考えを書き、説明する活動を重視した授業をさらに充実させることが大切だと考えられます。町内の学校全体、教員間で確認するとともに、保護者・地域と連携をしながら、児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てていきます。

今後注視したい町の課題

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査で、特に課題として捉えているものが、家庭学習（塾等も含む）の時間と放課後の過ごし方です。家庭学習の時間においては、小・中学生ともに1時間未満の児童・生徒の割合が全国に比べて高い結果となっています。放課後の過ごし方においては、特に中学生が放課後、家で勉強や読書をしたり、学習塾等で勉強したりする割合が低いという結果になっています。今後も学校・家庭・地域と連携を図りながら、小・中学校で「家庭学習強化週間」や「筑前町ネット4ない宣言」の推進を図っていきます。さらに今年度7月から地域学校協働活動事業として夜須中・三輪中アフタースクールを実施しています。町内中学生の学習に対する意欲の喚起や家庭学習の定着を促し、更なる学力向上を図ることを目指しています。

学習への意欲喚起、家庭学習の定着を促します



復習を中心に習熟度に合わせた指導

